



2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年11月1日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社インテリジェント ウェイブ
コード番号 4847 URL <https://www.iwi.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 邦光
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部 企画管理部長 (氏名) 新宅 光 TEL (03)6222-7015
四半期報告書提出予定日 2023年11月6日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第1四半期の業績 (2023年7月1日~2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	3,158	△13.4	263	△45.5	259	△45.9	175	△46.0
2023年6月期第1四半期	3,646	61.9	483	281.6	480	284.7	324	292.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	6.68	—
2023年6月期第1四半期	12.36	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	13,602	8,485	62.4
2023年6月期	13,683	8,799	64.3

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 8,485百万円 2023年6月期 8,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	15.00	—	25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年6月期の業績予想 (2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,000	3.1	850	5.8	870	5.6	600	7.5	22.83
通 期	15,000	12.2	2,250	44.5	2,290	42.8	1,590	36.5	60.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

①期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期1Q	26,340,000株	2023年6月期	26,340,000株
②期末自己株式数	2024年6月期1Q	60,086株	2023年6月期	60,051株
③期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期1Q	26,279,931株	2023年6月期1Q	26,282,466株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2023年11月6日(月)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。また、当日使用する説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における国内経済は、緩やかに回復しています。当社の主要な事業領域であるクレジットカード業界においては、個人消費の持ち直しにより、クレジットカード会社の取扱高も、前年の実績を引き続き上回り推移しています。経済産業省の算出によると2022年のキャッシュレス決済比率は36.0%、キャッシュレス決済金額は111兆円と、初めて100兆円を超えました。経済産業省は、キャッシュレス決済比率を2025年までに4割程度にするという目標を掲げています。

クレジットカード業界においては、不正検知のニーズが急速に高まっており、システム基盤はモダナイゼーションや費用対効果向上のためにクラウド導入の動きが加速化、また業界を問わずセキュリティに対するIT投資意欲も高まっています。

こうした事業環境の中、当社は2025年6月期を最終年度とする3カ年中期事業計画を推進しています。事業構造の変革や事業領域の拡大による事業基盤の強化、拡大を進めるとともに、自らの持続的成長に向けて、人財基盤と共創基盤の確立に取り組んでいます。

事業基盤の強化、拡大においては、当社が強みをもつ決済業務に係るシステム開発事業を基礎として、クラウドサービスの成長によるストックビジネスの拡大と、決済データの利活用や顧客のIT戦略支援による決済事業領域の拡大、及び、決済・金融以外の産業のDXに貢献するIT基盤の提供による事業領域の拡大を進めています。人財基盤については、人的資本経営推進室を新設し、事業戦略に合致した人財戦略を進め、共創基盤については、ビジネスリアイアビリティプロジェクトやIWIらしい新しい働き方プロジェクト等を通して組織横断型、社員全員参加型の取組み、対話を深めています。

当第1四半期累計期間の業績については、前期に大型ハードウェア更改があったため、前期比では売上、利益とも減少しましたが、その影響を除けば、増収増益基調となっています。

売上高は、決済・金融分野については、他社製品（ハードウェア等）が前期に大型ハードウェア更改があり減少となりましたが、クレジットカード会社向けの大型案件、及び案件数の伸長により、システム開発は増加しました。クラウドサービスについては、不正検知のクラウドサービス「IFINDS」を中心にユーザー数が伸長し、増加しました。セキュリティについては、製品構成を主力製品に絞って販売活動の効率化を図り、増加しました。その結果、売上高は3,158百万円（前年同期比13.4%減）になりました。

売上総利益は、他社製品（ハードウェア等）は、前期に高採算の大型ハードウェア販売があったため減少しましたが、システム開発、クラウドサービスは、増収や開発効率の向上等により利益率が改善し、増加しました。販売管理費は、人的資本投資やオフィス環境整備等により増加しましたが、コストの最適化を図り、計画通りに進捗しています。その結果、営業利益は263百万円（前年同期比45.5%減）、経常利益は259百万円（前年同期比45.9%減）、四半期純利益175百万円（前年同期比46.0%減）となりました。

受注については、受注高は4,257百万円（前年同期比36.0%増）、受注残高は12,073百万円（前年同期比33.4%増）となり、上期計画に対して順調に進捗しています。

中期事業計画で拡大を目指しているクラウドサービスについては、売上高592百万円（前年同期比36.4%増）、売上総利益96百万円（前年同期は△4百万円）となり増加しました。クラウドサービスは主に複数年契約の受注となっており、9月末時点で受注残高は6,717百万円となっています。2024年6月期は売上高2,500百万円を計画しており、順調に進捗しています。

当社は、決済領域では主にクレジットカード会社のFEP(Front End Processing)システム※や不正検知システムの開発を行っています。システムの中核は「NET+1（ネットプラスワン）」「ACEPlus（エースプラス）」等の自社製品で構成しており、例えば、FEPシステムの開発では、自社製品販売と、顧客の機能要件に合わせてカスタマイズするシステム開発、開発したソフトウェアを搭載するハードウェア販売の売上がそれぞれ計上されます。

また、セキュリティ領域では、企業組織の内部情報漏えいを防ぐ自社製品と、サイバーセキュリティ対策のための他社製品の開発・販売を行っています。

※ FEPシステム：クレジットカード決済処理に必要なネットワーク接続やカード使用認証等の機能をもつハードウェア、及びソフトウェア

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末に比べ80百万円減少し、13,602百万円となりました。うち流動資産は、前事業年度末に比べ526百万円減少し、7,336百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が597百万円減少したためです。

固定資産は、前事業年度末に比べ446百万円増加し、6,266百万円となりました。これは主に、無形固定資産のうち、開発中のソフトウェア320百万円、投資有価証券152百万円の増加があったためです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末に比べ233百万円増加し、5,117百万円となりました。これは主に、未払法人税等が135百万円の減少したものの、賞与引当金218百万円、前受金119百万円の増加があったためです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ314百万円減少し、8,485百万円となりました。この要因は、利益剰余金が、剰余金処分による配当財源への割当てにより525百万円減少した一方で、四半期純利益の計上により175百万円増加したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月2日付「2023年6月期 決算短信」で公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,694,621	4,704,120
受取手形、売掛金及び契約資産	1,982,679	1,385,050
棚卸資産	247,624	337,229
その他	938,544	910,146
流動資産合計	7,863,470	7,336,547
固定資産		
有形固定資産	1,025,781	1,076,407
無形固定資産		
ソフトウェア	2,340,911	2,233,212
その他	397,955	718,687
無形固定資産合計	2,738,867	2,951,899
投資その他の資産		
投資有価証券	1,179,719	1,332,094
その他	875,803	905,913
投資その他の資産合計	2,055,522	2,238,007
固定資産合計	5,820,170	6,266,315
資産合計	13,683,641	13,602,862
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	473,097	516,177
未払法人税等	314,629	178,896
前受金	2,324,707	2,444,464
賞与引当金	303,957	521,979
役員賞与引当金	41,782	5,171
その他	707,578	718,208
流動負債合計	4,165,752	4,384,897
固定負債		
退職給付引当金	606,007	617,429
役員退職慰労引当金	12,975	—
資産除去債務	97,050	97,086
その他	2,213	18,324
固定負債合計	718,247	732,840
負債合計	4,883,999	5,117,737

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,750	843,750
資本剰余金	573,099	573,099
利益剰余金	6,918,282	6,568,202
自己株式	△26,712	△26,744
株主資本合計	8,308,419	7,958,306
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	491,222	526,817
評価・換算差額等合計	491,222	526,817
純資産合計	8,799,641	8,485,124
負債純資産合計	13,683,641	13,602,862

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,646,349	3,158,664
売上原価	2,511,593	2,203,380
売上総利益	1,134,755	955,284
販売費及び一般管理費	651,272	691,545
営業利益	483,483	263,738
営業外収益		
受取利息	175	667
受取配当金	1,003	1,155
その他	1,122	364
営業外収益合計	2,301	2,187
営業外費用		
コミットメントフィー	1,693	1,693
為替差損	2,381	2,164
保険解約損	—	1,866
その他	1,232	290
営業外費用合計	5,306	6,014
経常利益	480,478	259,910
税引前四半期純利益	480,478	259,910
法人税、住民税及び事業税	306,305	162,988
法人税等調整額	△150,632	△78,595
法人税等合計	155,672	84,392
四半期純利益	324,805	175,518

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しています。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高		
ソフトウェア開発	1,046,167	1,207,967
当社製品	83,999	10,581
システムサービス	7,587	—
他社製品	1,037,971	131,774
保守	703,592	861,871
他社製品保守	156,865	181,103
サービス自社	491,885	648,134
サービス他社	118,280	117,232
合計	3,646,349	3,158,664
収益認識の時期		
一時点で移転される財及びサービス	1,561,395	638,812
一定期間にわたり移転される財及びサービス	2,084,954	2,519,852
合計	3,646,349	3,158,664